

平成18年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1324
事業コード		事務事業名	公園施設維持管理事業	
根拠法令等	蒲都市都市公園条例・規則	A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

人と自然が共生する潤いあるまちづくり	自然保護・緑化
--------------------	---------

事務事業の内容

対象（受益者）	都市公園利用者のために
手 段	都市公園を適切に維持管理することにより
想定する成果	快適な利用環境を保つ

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
公園数、面積	2 8 公園 19.55 ha	2 8 公園 19.55 ha	2 8 公園 19.55ha
公園管理委託料	2 6 公園 40,729千円	2 6 公園 40,786千円	2 3 公園 18,996千円
指定管理委託料			6 公園 40,931千円
樹木管理委託料	2 8 公園 31,159千円	2 8 公園 29,246千円	2 3 公園 13,472千円
使用料・賃借料	2 8 公園 22,474千円	2 8 公園 19,138千円	2 8 公園 13,642千円
公園等修繕料	2 8 公園 10,792千円	2 8 公園 11,129千円	2 3 公園 6,300千円

成果指標

成果指標名	1公園当たりの維持管理費	市民1人当たりの都市公園の面積
成果指標の説明	総事業費 / 2 8 公園	19.55 h / 蒲都市人口

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			3,334千円
	実績	3,756千円	3,582千円	
成果指標	計画			2.4m ²
	実績	2.4m ²	2.4m ²	
事業費	事業費	108,898	111,595	105,329
	人件費	27,350	23,352	23,667
	(人数)	3.4	3.0	3.0
	合計	136,248	134,947	128,996
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	136,248	134,947	128,996

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	ほぼ見合った予算内での修繕補修をしている
経済効率性	3	2	2	2	予算に見合った成果を上げている
事務効率性	3	2	2	2	外注作業を直営作業により効率化を図っている
必要性	3	3	3	3	市民の癒しの場としての快適に維持管理する必要がある
小計	11	9	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	快適な利用環境が保たれている
合計	14	9	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	B	B	現在の事務の進め方について予算的にも人員的にも限界に来ているので、利用形態によっては維持管理できないところもある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
公園樹木の剪定清掃等の回数削減	

今後改善すべき点

昭和40年代からの区画整理事業により生み出された街区公園などの施設の老朽化に伴い修繕、改修が増高している。今後は十分な安全管理の中で遊具等の見直しを図る必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

施設・設備等の整理統廃合による経費の削減に努めたい

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1332
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	連続立体交差事業				
根拠法令等	都市計画法		A(法令)	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	鉄道高架
-----------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	中心市街地を東西に走る鉄道に対して
手 段	愛知県と供に実施する鉄道高架事業に負担金を支払うことによって
想定する成果	市街地の一体的な発展を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
市負担金	659,250千円	315,000千円	405,000千円
事業内容	高架橋工事・駅部建築 河川改修	仮上り線撤去・河川改修 側道・交差道路整備	側道・交差道路整備 斜路付横断歩道橋設置

成果指標

成果指標名	事業進捗率	負担金の割合
成果指標の説明	負担金累計 / 総負担金 × 100	負担金額 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	85.1%	88.4%	
成果指標	計画			20.9%
	実績	21.8%	20.8%	
事業費	事業費	659,250	315,000	405,000
	人件費	9,653	6,227	6,311
	(人数)	1.2	0.8	0.8
	合計	668,903	321,227	411,311
財源内訳	国			
	県			
	市債	539,400	314,500	405,000
	その他			
	一般財源	129,503	6,727	6,311

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	3	3	予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	限られた人員で十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	県事業であり、市は負担金を支払っている。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	高架化が完了し、道路交通が円滑になった。
合計	15	12	15	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	現在の予算・人員の中で十分成果をあげている。
------	---	---	---	---	------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・事業主体の愛知県や鉄道事業者等の各関係機関と連携を密にして事業の進捗を図ってきた。	

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県、鉄道事業者との綿密な連絡調整が必要である。 ・油井踏切閉鎖に関連する工事等、地元住民に対する説明・広報が重要となる。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	都市開発部	都市施設課	内線等	1332
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡駅周辺整備事業		
根拠法令等	都市計画法・道路法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	鉄道高架

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡駅及び駅周辺利用者に対して
手 段	蒲郡駅北駅前広場及び接続道路を整備することによって
想定する成果	交通結節点として車両及び歩行者の安全を確保し、円滑に誘導できる広場を実現する

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
事業内容	委託料 0円	委託料 13,292,950円	委託料 6,050,000円
	工事費 0円	（蒲郡駅高架下施設整備委託） 工事費 3,218,250円 （蒲郡駅西仮駐輪場新設工事）	工事費 40,500,000円 （蒲郡駅西駐輪場新設工事）

成果指標

成果指標名	事業進捗率	-
成果指標の説明	事業費累計 / 総事業費 × 100	-

事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			15.8%
	実績		5.4%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費		16,510	47,971
	人件費		10,119	10,256
	(人数)		1.3	1.3
	合計		26,629	58,227
財源内訳	国			18,200
	県			
	市債			20,600
	その他			
	一般財源		26,629	19,427

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	1	2	鉄道事業者等関係機関と協議・調整中である。
経済効率性	2	2	2	2	予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	各関係機関との調整が難しく、事務が煩雑である。
必要性	3	3	3	3	蒲郡の玄関口である駅前広場、駐輪場及び接続する道路を整備することは市の施策である。
小計	9	9	8	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	高架下利用計画が策定作業が進んでいない。
合計	11	9	10	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	鉄道事業者等関係機関との協議を積極的に進めると同時に検討委員会等の意見を聴取し、早期の事業進捗を図る。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り既存の施設を利用し、事業費の軽減を図った。 ・平成14年11月に「蒲郡高架下利用計画及び蒲郡北駅前広場整備計画策定委員会」を設置して高架下利用と北駅前広場整備について意見を集約している。 	

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・さらに愛知県、鉄道事業者等の関係機関と連絡調整を密にし、確実な事業進捗を図る。
--

平成20年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡北駅前広場整備工事に着手する。
--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】